

## 平成27年度指定管理者評価シート

## 1. 管理運営の状況等

|               |   |
|---------------|---|
| (1)施設名        | さいたま市南浦和コミュニティセンター外5施設  |
| (2)施設概要       | <p>①所在地<br/> さいたま市南区大谷場2丁目6番25号(さいたま市南浦和コミュニティセンター)<br/> さいたま市中央区本町東3丁目5番43号(さいたま市与野本町コミュニティセンター)<br/> さいたま市中央区上峰2丁目3番5号(さいたま市上峰コミュニティホール)<br/> さいたま市中央区桜丘2丁目6番28号(さいたま市西与野コミュニティホール)<br/> さいたま市中央区大字下落合1712番地(さいたま市下落合コミュニティセンター)<br/> さいたま市浦和区東高砂町11番1号(さいたま市浦和コミュニティセンター)</p> <p>②施設の設置目的<br/> 市民のコミュニティ活動のための施設として設置</p>  |
|               | <p>③施設の概要<br/> (さいたま市南浦和コミュニティセンター)<br/> 【開館】平成3年4月<br/> 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階建<br/> 【敷地面積】2,822㎡<br/> 【延床面積】1,495㎡<br/> 【主要施設】体育館(定員167名)、レクリエーション室(定員50名)</p> <p>(さいたま市与野本町コミュニティセンター)<br/> 【開館】昭和56年3月<br/> 【構造】鉄筋コンクリート造 地上1階建<br/> 【敷地面積】6,249㎡<br/> 【延床面積】2,539㎡<br/> 【主要施設】多目的ルーム(大)(定員290名)、和室(定員60名)</p> <p>(さいたま市上峰コミュニティホール)<br/> 【開館】昭和59年9月<br/> 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建<br/> 【敷地面積】558.08㎡<br/> 【延床面積】316.91㎡<br/> 【主要施設】会議室(定員18名)、調理室(定員12名)</p> <p>(さいたま市西与野コミュニティホール)<br/> 【開館】平成4年7月<br/> 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建<br/> 【敷地面積】1,629㎡<br/> 【延床面積】1,410㎡<br/> 【主要施設】多目的ルーム(定員150名)、第1会議室(定員36名)</p> <p>(さいたま市下落合コミュニティセンター)<br/> 【開館】平成15年5月8日<br/> 【構造】鉄筋コンクリート造 地上20階建のうち3階・4階部分<br/> 【延床面積】991.66㎡<br/> 【主要施設】多目的ルーム(定員108名)、調理室(定員12名)</p> <p>(さいたま市浦和コミュニティセンター)<br/> 【開館】平成19年10月25日<br/> 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上10階建のうち9階一部・10階部分<br/> 【延床面積】4,239.76㎡<br/> 【主要施設】多目的ホール(定員400名)、レクリエーションルーム1(定員45名)</p> |
| (3)指定管理者      | 公益財団法人さいたま市文化振興事業団  |
| (4)指定期間、指定管理料 | <p>①指定期間<br/> 平成23年4月1日～平成28年3月31日</p> <p>②指定管理料<br/> 平成25年度 171,491千円 平成26年度 176,391千円 平成27年度 176,391千円</p>  |

|               |   |
|---------------|---|
| (5)施設の管理運営の内容 | <p>①運営業務の状況(利用状況含む)<br/> ◇利用状況<br/> 【利用件数】45,030件(前年度 42,567件)<br/> 【利用人数】840,695人(前年度 781,619人)<br/> 【稼働率】88.1%(前年度 88.3%)<br/> 【利用率】73.7%(前年度 73.4%)</p> <p>◇業務実施状況<br/> ・コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施<br/> ・コミュニティ活動等の情報提供・相談対応<br/> ・施設の貸し出し</p> <p>②維持管理業務の状況<br/> ・施設、設備等の保守管理及び修繕を実施</p> <p>③その他(自主事業等)<br/> 【自主事業(さいたま市南浦和コミュニティセンター外5施設)】<br/> ・気軽にシェイプアップ(21)、男の料理講座(55)、片付け講座(20)、フラダンス講座(68)、ゆったりヨガ講座(20)、パソコン講座(49)等、各種講座を開催<br/> ※( )内の数字は、参加人数</p> |
| (6)収支状況       | <p>①収入<br/> ・指定管理料 176,391千円(前年度 176,391千円)<br/> ・自主事業収入 1,927千円(前年度 2,005千円)<br/> ・その他収入 3,836千円(前年度 3,937千円)</p> <p>②支出<br/> ・人件費 101,153千円(前年度 101,547千円)<br/> ・事務費 724千円(前年度 691千円)<br/> ・施設管理費 72,129千円(前年度 72,942千円)<br/> ・自主事業費 2,851千円(前年度 3,102千円)</p>   |
| (7)その他        | <p>地域連絡協議会を年2回開催し、地域コミュニティの推進と社会福祉の向上を図るとともに、同協議会にて提案された意見・要望などを生かし、市民ニーズに即応した円滑な施設運営を行った。</p>  |

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

| 提案内容                             | 達成状況   |
|----------------------------------|--|
| コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 | <p>各種講座や普通救命講習等を開催したほか、コミセンまつりやコンサートなど、合計73事業を実施し、21,514名の参加者を得た。<br/> また、市内16のコミュニティセンターと2つのプラザにおいて地域支援の場の提供を目的とした「ぐるりパネル展～みなさんの活動をひろく広報しましょう～」を市民活動サポートセンターと協働開催した。</p>  |
| コミュニティ活動等の情報提供・相談対応事業            | <p>事業団ホームページや事業団情報誌SaCLaの発行により、施設で実施する講座等を紹介するとともに、コミュニティセンターだよりを月1回発行し、施設の利用情報や、施設を取り巻く地域の情報を掲載し、市民への情報提供に努めた。<br/> また、施設利用に関する案内以外にも積極的に対応するため、市民相談コーナーを設置し、問題解決のための情報を提供するとともに、関係機関の紹介を速やかに行った。</p>           |
| 施設の貸出                            | <p>パソコンが苦手な方のために予約を補助、代行するとともに、接遇研修の受講等を生かし、丁寧な接客を心がけ、施設利用者及び利用率の増加に努めた。<br/> また、利用する施設以外のコミュニティ施設で申請・入金ができる「他館申請」サービスにおいては、全施設の合計で4,951件、5,397,790円を取扱った。</p>   |
| 施設維持管理                           | <p>指定管理協定書の維持管理計画表に基づき、施設・設備等の保守点検や清掃を実施するとともに、適切な修繕を行い、安全かつ快適な環境整備に努めた。<br/> また、電気・水道・ガス等の省エネに取り組み、光熱水費の縮減を図りつつ、管理運営に必要な物品等について、できる限り再生品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。</p>  |
| 市施策事業との連携                        | <p>さいたま市が主催する「るさいたま市ジュニアソロコンテスト」の開催にあたり、職員の派遣等を行うなど連携を図ったほか、下落合コミュニティセンターにおいては、中央区の大正時代まつりとコミセン祭りを同時開催し、展示や発表の場を提供することにより、利用団体や地域団体を支援した。<br/> また、浦和コミュニティセンターにおいては、岸町公民館との共催で「浦和区公民館書道・篆刻グループ展」を開催し、連携を図った。</p> |
| 利用者満足度調査                         | <p>施設利用者には「職員の対応」・「施設・設備」等について、講座参加者には「講座内容」・「今後の希望」等について、それぞれアンケート調査を実施し、利用者の満足度向上に向けて改善を図った。<br/> また、アンケート結果や改善内容については、自由に閲覧できるように受付窓口に設置した。</p>   |

### 3. 評価

#### (1) 指定管理者による評価

利用者が安心・安全、かつ快適にご利用いただけるよう、法令に基づく法定点検のほか、設備や備品等の適正な維持管理に努めた。また、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)を具体化した、「コミュニティ振興プラン」に基づき、地域において学習できる環境及び市民・団体同士が交流を深めることができるような事業を実施した。

今後においては、地域の意見を取り入れながら施設運営に努めるとともに、広報活動の強化を図り、利用者の増加に努めます。

#### (2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

##### 総合評価 (B) ※A~D

- ・南浦和コミュニティセンターは、公民館との併設施設であり、コミセン職員は館長と臨時職員のみであるが、公民館の職員ともコミュニケーションをとり、協力し合いながら、管理運営をしている。
- ・与野本町コミュニティセンターでは、英語表記のパンフレットを独自に作成しており、外国人にとっても利用しやすいよう、工夫がなされている。
- ・上峰コミュニティホールでは、地域の人を講師として立て、地域密着型の講座を実施しており、地域交流機能が活用されていることが伺える。
- ・西与野コミュニティホールでは、一部の電気スイッチについては、テープを貼って点けられないようにする等、利用者の協力を得ながら、照明や空調の調整を行ない、積極的に経費縮減を図っている。
- ・下落合コミュニティセンターでは、和室の玄関に椅子を設置しているほか、トイレへ行くためのサンダルを用意するなど、利用者が心地よく利用できるように、細かな気遣いがなされている。
- ・浦和コミュニティセンターでは、毎年、複合施設のメリットを生かしてコムナーレフェスティバルを大々的に実施しており、地域だけにとどまらず、広く人々が交流できる取り組みが行われている。

#### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実と市民との協働が図れるよう、コミセンまつりをはじめとする自主事業の積極的な展開を行うよう指導していく。